

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	若者のための応援環境づくりの推進						掲載ページ		
							120		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		1,128	千円	1,496	千円	施策名	若者の自立支援	担当課	青少年課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	不安定な雇用やニート（若年無業者）、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている子どもや若者が増加しています。そこで、若者の自立を支援する応援環境づくりを推進します。					
活動計画	情報発信ツールとしての、若者向けホームページの運営や、関係機関との連携を図る「北九州市子ども・若者支援地域協議会」を運営します。また、ユースアドバイザー養成講習会を開催するなど、応援環境づくりを推進します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	若者向けホームページへのアクセス件数の増加	23,796 件	前年度水準	22,986 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	インターネット等により、若者に有益な情報（就業支援等の各種施策、各種相談窓口、市の魅力、お出かけ情報等）やそれぞれの専門機関の情報等がタイムリーに発信しており、情報発信として有効と考え、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）			%			
	ユースアドバイザー養成講習会の参加者数	34 名	25 名	35 名	順調 やや遅れ	順調	
若者の自立支援に対応する専門的な相談員「ユースアドバイザー」を養成するため、研修・養成プログラムに基づき、「ユースアドバイザー養成講習会」を開催しています。その参加者数を指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）	140.0 %			遅れ			

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成26年度の若者向けホームページへのアクセス数は、25年度からユースステーションの情報を新たに追加したことなどから、22,986件となり前年度水準を維持しています。これは市内において若者支援に対する認知が進んでいることの現われであるため、順調と判断しました。今後も内容の充実に努めるとともに、双方向の情報発信サイトを目指します。また、北九州市子ども・若者支援地域協議会の運営（実務者会議：6回開催）やユースアドバイザー養成講習会の開催（35名参加）を通じて、子ども・若者支援のための着実なネットワークづくりを行っています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	ホームページソフトウェアをネットワーク経由のサービス利用型（SaaS型）とし、開発コスト及び運営コストを低減しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
北九州市若者応援サイト「YELL」の充実に努めます。 「北九州市子ども・若者支援地域協議会」の着実な運営、また「ユースアドバイザー養成講習会」の内容充実に努め、若者の応援環境づくりを推進します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	子ども・若者応援センター「YELL」の運営						掲載ページ		
							120		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		23,291	千円	23,343	千円	施策名	若者の自立支援	担当課	青少年課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	不安定な雇用やニート（若年無業者）、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている子どもや若者が増加しています。そのため、『子ども・若者応援センター「YELL」』において、自身の抱える困難を解消し、円滑に社会生活を営めるよう支援します。					
活動計画	困難を抱える子どもや若者の育成支援に関する総合相談・助言や保護者のための面接相談など、総合的にサポート（コーディネート）していく総合相談窓口として、子ども・若者応援センター「YELL」を運営します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	来所・電話相談件数	2,366 件	—	2,663 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	悩みや課題を抱える子どもや若者、その保護者等を適切にサポートするため、来所・電話相談件数を活動指標として設定し、現状を把握します。 （最終目標と最終年度）					順調	
					やや遅れ	順調	
（最終目標と最終年度）				遅れ			

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	開設以来多くの方々にご利用いただき、悩みや課題を抱える子どもや若者とその家族等を対象に、総合的にサポートする拠点として支持されています。平成26年度は、延べ相談件数が2,663件（来所1,000件、電話1,663件）、その内新規来所相談実人数は156件となっています。悩みや課題を抱える156人の子ども・若者が、相談機関に繋がりを支援を受けられるようになったことから順調と考えています。 また、活動の状況については延べ相談件数の増加や自立のステップアップのために必要な体験プログラムへの延べ参加者数（1,232人）があることから、相談者に対して継続的な支援を行うことができ、順調と考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	運営業務を社会福祉法人へ委託し、経済的・効率的な運営を行っています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
継続的に悩みや課題を抱える子どもや若者を総合的にサポート（コーディネート）して行きます。 また、相談事業に加え、コーディネーターを中心に、NPO等との連携を図りながら若者の自立に向けたステップアップに繋がる体験プログラムの提供を行います。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	「ひきこもり地域支援センター」の運営						掲載ページ		
							120		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	保健福祉局
		11,992	千円	12,001	千円	施策名	若者の自立支援	担当課	障害福祉課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	ひきこもりの問題を抱えた当事者や家族等に対して、電話相談や来所相談、訪問支援、フリースペースなどを実施することで、ひきこもり当事者の方の居場所作りや社会参加を目指します。		活動実績	活動実績は下記のとおりです。		
活動計画	来所相談、電話相談、訪問相談、フリースペースを実施し、ひきこもり当事者・家族の支援を続けていきます。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	ひきこもりの当事者、家族からの相談延べ件数		1,510 件	500 件	1,749 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	ひきこもりの当事者の方の社会参加のため、ニーズに応じて来所相談、電話相談、訪問支援を行うことで、ひきこもりの当事者が自分らしく暮らせることから、相談延べ件数を活動指標としました。 （最終目標と最終年度）500件（毎年度500件）（平成26年度）				349.8 %		
	ひきこもりの当事者、家族からの相談実人数		306 人	維持	283 人	順調 やや遅れ 遅れ	順調
ひきこもりの当事者の方の社会参加のため、ニーズに応じて来所相談、電話相談、訪問支援を行うことで、ひきこもりの当事者が自分らしく暮らせることから、当事者及び家族からの相談実人数を活動指標としました。 （最終目標と最終年度）							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	ひきこもりの当事者、家族からの相談延べ件数は年々増加し、平成26年度は1749件になりました。実人数はほぼ横ばいですが、相談件数は増えていることから、順調であると判断されます。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	ひきこもりの当事者及び家族等への支援を主体とするNPO法人すてっぷ・北九州に運営委託しており、これまで築いてきたひきこもりの当事者及び家族等への支援ネットワークを活用することができているため、経済性・効率性は高いと考えます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
引き続き、利用者のニーズに沿った事業を継続します。また、前年度に引き続き、来所相談、電話相談、フリースペースを実施します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	若年者のための消費者被害防止出張講座						掲載ページ		
							120		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		53	千円	260	千円	施策名	若者の自立支援	担当課	消費生活センター

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	若年者が巻き込まれる消費者トラブルが後を絶たないため、小・中学生、高校生、大学生、新入社員等に対して、出張講座を実施することで消費者被害の未然防止を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	若年者の消費者被害の未然防止に向けた積極的な取り組みを推進します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	若年者のための出張講座実施回数		24回	30回	18回	60.0%	大変順調
	若年者が消費者啓発を受ける機会の目安とするため、若年者のための出張講座実施回数を活動指標としました。 (最終目標と最終年度)平成26年度に年間30回実施						
	若年者のための出張講座受講者数		1,642人	900人	828人	92.0%	順調 やや遅れ 遅れ
若年者が消費者啓発を受ける機会の目安とするため、若年者のための出張講座受講者数を活動指標としました。 (最終目標と最終年度)平成26年度に年間900人受講							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	実施回数は目標を下回りましたが、出張講座受講者数はほぼ目標を達成しています。講座受講者からは高い評価を受けており、消費者被害防止のための啓発方法として有効であると考えます。 また、出張講座に加えて、当センターが制作し市内中学校に配付した啓発DVD「気をつけよう！ネットに潜むワナ」や当センターのホームページへアップした小学生向け啓発かるたも活用されており、若年者の被害防止のための啓発活動に寄与しています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	消費者問題に精通した講師を選任し、市の講師謝礼基準に基づいた派遣を行うことで、経済的、効率的な運用をしています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
消費者を対象とした講座は、消費者被害の未然防止に有効な施策であり、今後も機会あるごとに講座の周知を図ります。また、今後、若年者を含むすべての消費者に対する消費者教育について、関係部局と連携して計画的に推進してまいります。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	社会的ひきこもり対策事業						掲載ページ		
							120		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	保健福祉局
		580	千円	862	千円	施策名	若者の自立支援	担当課	精神保健福祉センター

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	さまざまな要因によって社会的な参加の場面がせばまり、自宅以外での生活の場が長期にわたって失われているひきこもりの中でも、背景に精神疾患や発達障害がないとされる「社会的ひきこもり」の状態にある人たちが自立できるよう支援と体制づくりを目指します。	活動実績	活動計画のとおりに実施しました。
活動計画	「社会的ひきこもり」の状態にある人たちが自立できるよう、社会的ひきこもり家族教室（前期4回、後期4回）や、ひきこもりに関する市民向け講演会（「ひきこもりを考える集い」）を開催します。また、ひきこもり支援実務者連絡会（年3回程度）を開催します。			

活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
		家族教室の参加者数（延べ） 家族が正しい知識をもち精神的に安定することで、本人に対する効果的な対応を可能にし、家族同士が会えることで支えあいの効果及び本人同士の出会いの場の提供を図ります。 （最終目標と最終年度）各年度延60人程度	86人	60人	86人 143.3%	大変順調
ひきこもり支援実務者連絡会の参加人数（延べ） 医療、教育、保健、福祉、行政等の実務者のネットワークを構築することを目的に、会議を開催します。 （最終目標と最終年度）各年度延60人程度		40人	60人	74人 123.3%	順調 やや遅れ 遅れ	順調

## 【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	予定どおり活動でき、関係機関と連携を取りながら事業を進めることができたと考えます。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	「ひきこもり地域支援センター」開設以降、連携を進めながら、より効率的に事業を進めることができていると考えます。

## 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

今後も「ひきこもり地域支援センター」をはじめとする各関係機関との連携を進めながら、より効率的に事業を進めます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	若年者就業促進事業						掲載ページ		
							121		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	産業経済局
		80,500	千円	93,952 <small>(若者ワークプラザ運営事業及び若年者求人開拓事業等の総額。)</small>	千円	施策名	若者の自立支援	担当課	雇用政策課

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 若者ワークプラザ北九州の運営により、概ね40歳までの若年求職者に対して、就職関連情報の提供、就業相談や職業能力向上のための講座・セミナー、希望や適性に合った職業紹介等を実施し、地元企業への就職を促進します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	求職者と企業のミスマッチ解消のため、市、求人開拓員、カウンセラーでの連絡会議を定期的開催し、求職者のニーズに合う求人獲得とマッチングに努めます。また、求職者情報(匿名)をまとめたリストを作成し、求人開拓員が企業に対して求職者をPRします。(また、セミナーの内容や開催頻度等の見直し、広報の充実について検討します。)						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	カウンセリング利用者数(延べ数)		12,835 人	13,500 人	12,825 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	専門のカウンセラーによる就業相談を行っており、より多くの求職者に、きめ細かな支援を行う指標として設定しました。 (最終目標と最終年度) 13,500人 (平成27年度)				95.0 %		
	就職決定者数		1,185 人	1,200 人	1,102 人	やや遅れ	順調
若年者の就職支援の成果を表す指標として、若者ワークプラザ北九州(小倉)の利用者のうち、就職が決定した人数を指標に設定しました。 (最終目標と最終年度) 1,200人 (平成27年度)		91.8 %			遅れ		

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成26年度の若者ワークプラザ北九州の実績は、目標値を若干下回りましたが、概ね予定どおりであり、順調としました。なお、雇用情勢の改善に伴い、自力就職者の増加や早期就職(就職までの利用回数の減少)などの傾向があり、実績に影響する要因と考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	事業費の中に占める大きな要素である人件費(カウンセラー・スタッフの人数)や、賃料等(利用者の利便性を考慮した設置場所)は適切だと考えます。職業紹介や講座などは民間でも実施されていますが、有料であるため必要な支援を受けられないケースがあります。求職者・地元企業に対して幅広く、きめ細かな支援が必要なため、市での実施が適切だと考えます。

## 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

若年者にはスキル・経験の不足など、様々な就業への課題があり、未就職・失業状態が長期化すると更に就職が困難になるため、今後も継続して丁寧な就業相談を行い、希望や適性にあった職業紹介を実施していきます。また、若者ワークプラザの利用者増加のために継続的・効果的な広報を実施します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	学卒者、離職者、在職者を対象とした職業訓練の実施に対する支援						掲載ページ		
							121		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	産業経済局
		0	千円	0	千円	施策名	若者の自立支援	担当課	雇用政策課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	市内で実施される職業訓練について、広く市民に知らせるとともに、職業訓練施設の受講生（訓練生）確保、利用促進を支援します。		活動実績	活動結果は、下記のとおりです。		
活動計画	必要に応じて、市政だよりに掲載を依頼します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	市政だよりへの掲載		24回	-	32回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	市政だよりを活用し、職業訓練施設で行う講座などの周知を行います。 ※紙面の都合により掲載が困難な場合もあり、目標は立てられません。 （最終目標と最終年度）						
（最終目標と最終年度）					順調	やや遅れ	順調
					遅れ		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	市政だよりに掲載された講座等は、申込み数の増加につながったとの評価を得ていることから、一定の成果があったものと判断しています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	市政だより掲載は無料であり、他の有料媒体への掲載と比べても広報の効果は大きいと考えます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
引き続き、講座や職業訓練の周知のため、必要に応じて市政だよりを活用し広報を行います。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	「ユースステーション」運営費						掲載ページ		
							H25年度新規		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		24,765	千円	27,648	千円	施策名	若者の自立支援	担当課	青少年課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	将来を担う中・高校生をはじめとする若者が、気軽に立ち寄り、学習、スポーツ、文化活動、仲間との交流等ができる環境を整え、安全で安心な居場所を創ることにより、豊かな人間性や自主性を養い、社会性を育てます。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	中・高校生などの若者による運営委員会方式の企画や、各分野のボランティアや「北九州ひとみらいプレイス」の関係機関等とのネットワークの活用を進めます。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	若者向け事業への参加者数		914 人	1,000 人	1,525 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	関係機関とのネットワークの活用等により、各種事業の数・質を高め、事業への参加者数の増加を図ります。 （最終目標と最終年度）1,500人（平成31年度）				152.5 %			
						順調	大変順調	
					やや遅れ			
					遅れ			

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成25年度にオープンし、26年度は年間で延べ65,040人の利用（前年度1,246人増）があり、施設の認知も進んでいることから、大変順調と考えています。そのうち約80%が中学生・高校生の利用で、フリースペースや学習室、多目的ホールの利用が多く、仲間との交流等に役立っています。また、主催事業の参加者数も目標値を大幅に上回りました。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	現在市が直営で行っている施設運営を、青少年の健全育成などを行っているNPO等と連携を図り、事業コストの削減に努めます。また、指定管理者制度の導入に向けた検討を行います。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること	
施設主催の事業に加え、若者が積極的に自主事業をできるよう支援するとともに、施設ボランティア活動や施設運営に若者の意見を取り入れる仕組みづくりを行います。	





---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

